

Diversity(多様性)Equity(公平性)Inclusion(包摂性)
多様な人たちが互いを認め合うとともに、それぞれの持ち味を發揮して生き生きと活躍し、皆が温かく包み込まれる社会をめざして



「中学校統一型制服の導入」プロジェクトの進捗状況

大村市立中学校新制服検討委員会を開催しました。そこで確認したことをお知らせします。

- 1 期 日 令和4年8月2日(火)、8月30日(火)
- 2 委員構成 市内全中学校長6名、市PTA連合会役員3名、市内小学校長3名、市教育政策監1名
- 3 協議内容 ①令和3年度小委員会等協議事項の確認
②新制服導入の必要性、進め方、検討が必要な事項等の検討

制服の必要性 次のような点から、制服は必要であると考えます。

- 衣服代の節約になり、家庭の経済格差が表れにくい。
- 公私の切り替えや身分証明になる。
- 市の中学生としての所属感が生まれる。

新制服の基本的な考え

機能性・感触性・耐久性・経済性・安全性などに優れ、生徒の誰もが安心・安全な学校生活を送ることができる大村市内統一型の「ジェンダーレス制服」を大村市立中学校新標準学生服とする。

変更の必要性 次の課題を解消するために必要であると考えます。

- ▲男女の性別によって制服が指定されている。
- ▲セーラー服やスカートは、冬場の体温調節を難しくしている。
- ▲学校間の価格差が1万円程度ある。

検討する際の視点 次の7つの視点から、検討を進めていきます。

- ①性別で指定しない(ジェンダーレス)制服
- ②同価格購入と再利用(リユース)の大幅促進
- ③家庭で洗濯がしやすい素材で、3年間着用できる耐久性
- ④機能性の向上による、活動の行いやすさ
- ⑤スラックス・キュロット採用による、安全性や防犯度の向上
- ⑥学校規模適正化に伴う校区の再編にも対応可能
- ⑦大村に合った長期間愛用される制服

4 質の高い教育をみんなに

5 ジェンダー平等を実現しよう

10 人や国の不平等をなくそう

12 つくる責任 つかう責任

導入形態 DEIの考えの下、「選択できる」ことを大切にします。

- 共通の上着に、スラックスやスカート、ネクタイやリボンを選んで組み合わせる。
- ◆左前・右前が自由に換えられる上着
- ◆体型の違いに合わせた、又は逆に違いが出にくいデザインのスラックス
- ◆学校の違いが出せるエンブレム等

今後の主なスケジュール

今後は「**新制服選定委員会**」で制服を具体的に検討していきます。

- R4.10月 第1回選定委員会
 - ・方針や選定方法の決定
- R4.11月 メーカーへサンプル作成依頼
- R4.11月 第2回選定委員会
 - ・新デザインの選定
- R4.12月 サンプルの展示会・投票
- R5.02月 第3回選定委員会
 - ・マスターメーカー決定
- R5.05月 第4回選定委員会
- R5.06月 第5回選定委員会
 - ・新制服の決定、公式発表
- R6.1～3月 新制服販売
- R6.04月 新制服での入学式

検討委員の皆様には、アンケートの全記述を熟読され、熱心に協議いただきました。上記の協議結果のほか、選定においては、特に価格面について保護者の方の負担が少しでも軽減されるよう配慮することが確認されました。

選定委員を募集します！

小中学校関係者だけでなく、高校関係や青年層、地域の代表で構成される「選定委員会」に、**小学生及び中学生の保護者**からも各1名の委員を公募し、新制服の決定にかかわっていただきます。

【応募できる方】
 ☆市内小・中学校に通う小学4年生～中学2年生の保護者の方
 ☆新制服の導入について、建設的にご意見・提案いただける方

【応募方法】
 ☆学校を通じて配付する応募票に必要な事項を記入の上、9月20日までにご応募ください。

募集中!